

## ●第44回試験合格 Nさん 20代女性

私は、学科2科目合格の状態で、実技試験のみを残していました。  
しかし、前回試験であれほど勉強した実技試験対策の何が悪かったのか、  
今度はどう勉強すれば受かるのかと、夢カフェの門戸を叩きました。

### 1、先生ほど「気象予報士試験の今」を研究している人はいない！

これまでに過去問の解説本を読んだり講義などを受けましたが、  
先生ほど試験の隅々まで分析し「この問題で試験官が何を言わせたいか」まで述べられる方はいないと思います。  
「なんでこの問題では、こんなことを聞いて来るんだ」と、文脈が分からない時も、  
そのストーリーを細かく教えて下さいました。  
過去の試験問題の歴史にも詳しく「どの年度のあの問題ではこれが問われたので、これも知識として必要だ」と  
明確に伝えて下さることで、学習意欲も上がりました。

### 2、聞きたい所を細かく聞ける。さらに、自分が気がついていない自分の無知を気づかせてくれる！

過去問の解説にも載っていないような細かい疑問でも、  
明確な答えがないままモヤモヤしていることが多いものです。  
だれに聞けば分からない問題を丁寧に教えてくれるのが先生です。  
また先生は、私が分からなかった部分の関連した箇所をいきなり質問してこられることがあります。  
こちらとしては「ドキッ！」とするのですが、この質問により、自分で考える力がついたり、  
分かっているようで分かっていなかったところを復習することができたりします。  
先生の「突然の質問」には本当に鍛えられました。

### 3、オリジナル教材が幅広い！

天気記号のミニテストから模擬試験まで、先生独自のオリジナル問題をたくさん頂き、解きました。  
基礎の基礎のテストですが、今回の試験では実際に雲量や下層雲量を記述式で問われました。  
また、漢字で地名を書くことも、先生のミニテストで「これくらいは漢字で書こうよ」と言われ暗記しました。  
すると、今回の試験では「地名を漢字で書くこと」を何度も問われました。  
筋トレに近い、基礎訓練のオリジナル問題が功を奏でたと感じています。  
過去問で出た鬼門難問をマスターするだけでなく、基礎の基礎を固めるオリジナル教材への取り組みは、  
合格の鍵だったと感じています。

### 4、授業を楽しんで挑めるよう工夫が凝らされている！

先生の授業は、生徒が楽しめるよう、驚くほど工夫でいっぱいです。  
その例は、企業機密だと思しますので内緒にしますが、  
毎回、先生のアイデアいっぱいの“気象の”遊びで、楽しく授業に取り組みました。  
「遊びよりより過去問を・・・」と言う方も いると思いますが、  
（たしかに私も最初は「その遊び」の奥義を知りませんでした・・・）授業を何度も受けるうちに、  
先生の出してくれる「遊び」が楽しみで仕方なくなりました。  
そして、その遊びこそが、試験での細かい点数稼ぎにつながったと思っています。

## 5、時に厳しい！そして褒める！心が大きい！

仕事で忙しかった私にとって、先生のオリジナル問題の宿題や過去問などは、仕事の合間に解くのが普通でした。  
その結果、仕事に気が入ってケアレスミスがあったり、問題を読み間違えていることがありました。  
私としては「仕事の合間にやっているから」という言い訳がありましたが、  
先生からは「これじゃ本当の実力が伸びない」と言われ、そのスタイルを徹底的に変えました。  
まとまった時間を取るのはなかなか大変でしたが、本番のように解くことを毎日練習したことで、  
本番の緊張は抑えられたと思います。  
また「簡単な問題も丁寧にやりなさい」と厳しく言われたこともあり、天気図を丁寧に読み込む特訓をし、  
基礎をゆっくりと積み重ねました。これも、天気図のポイントを見落とさない力となりました。  
先生の「時に厳しいスタイル」は私の勉強のスパイスになりました。  
また、厳しいのは本当に“時に”のことで（もちろんですが、怒鳴ったりなどしません！）  
実力をつけた時にはきちんと褒めてくれました。それも、大きな自信となりました。  
前日まで幾度も質問や相談をし、試験が終わり合格の結果を見るまでも、  
受け終えた試験の質問や相談をしていました。  
「千本ノックか！」と言いたくなるような私の発言に真摯に答えてくださった先生は、心の大きな教育者です。